

## 令和3年12月定例教育委員会 会議録

- |   |      |   |   |   |  |
|---|------|---|---|---|--|
| 1 | 日 時  | 令和3年12月27日（月）   | 開 会   | 午後  | 1時30分  |
|   |      |   | 閉 会   | 午後  | 2時40分  |
| 2 | 会 場  | 茅野市役所 8階大ホール  |   |   |  |
| 3 | 出席委員 | 教育長<br>教育委員<br>教育委員   | 山田 利幸<br>永嶋 陽子<br>若御子雅英                                   | 同職務代理者<br>教育委員  | 矢島 喜久雄<br>勅使川原はすみ                                  |
|   | 出席者  | こども部長<br>こども課長<br>学校教育課長<br>文化財課長<br>こども係長<br>生涯学習係長<br>教育総務係主事 | 有賀 淳一<br>五味留美子<br>五味 正<br>五味 健志<br>宮下 孝<br>河西 茂廣<br>小池 智也 | 生涯学習部長<br>幼児教育課長<br>生涯学習課長<br>スポーツ健康課長<br>教育総務係長<br>文化財係長 | 北沢 政英<br>柳澤 澄子<br>田中ひろみ<br>伊藤 善彦<br>春日 雅彦<br>小池 岳史 |
| 4 | 傍聴者  | 0名  |   |   |  |

## 12 月定例会教育委員会次第

日時 令和3年12月27日（月）午後1時30分

から

場所 市役所 8F大ホール

### 1 開 会

### 2 前回会議録の承認

### 3 報告事項

第1号 教育長報告

第2号 各課からの報告

（1）学校教育課

（2）こども課

（3）幼児教育課

（4）生涯学習課

（5）公民館

（6）文化財課

（7）スポーツ健康課

第3号 教育委員会共催後援

（1）生涯学習課

（2）スポーツ健康課

### 4 議 案

今回はありません

### 5 検討事項

今回はありません

### 6 その他

（1）市議会12月定例会一般質問について

（2）市議会12月定例会議決結果について

（3）茅野市子育て世帯等臨時特別支援事業（子育て世帯への臨時特別給付  
（先行給付金））支給事業実施要綱について

（4）令和4年度地区公民館長の選考について

（5）令和3年度保育園卒園式及び令和4年度入園式の日程について

（6）令和3年度小中学校卒業式及び令和4年度入学式の日程について

(7) 永明中学校校庭遺跡発掘調査の状況について

(8) その他

次回定例教育委員会日程について

	1月27日(木)	9時30分「8F大ホール」
(事務局会議	1月13日(木)	9時00分「602会議室」)

7 閉会

○教育長

12月定例会を始めます。

最初に前回の会議録について、承認いただけるでしょうか。

○全委員

異議なし。

○教育長

後ほど署名をお願いします。

次に報告第1号、活動報告に入ります。

6日、議会が始まりました。同日、社会体育団体の関係で、ジュニアバスケット全国大会出場報告がありました。さらに、ICT教育で用いる情報リテラシーのテキストを発行して記者会見を行いました。予算の関係上、教育委員の方々の分はまだご用意できませんが、来年増刷してお配りしますのでぜひご覧ください。

8日から10日まで議会の一般質問がありました。後ほどご説明します。

12日、スケート大会ありがとうございました。2時の段階で波打っていましたが、見事に4時半には凍りました。さらに、オリンピック・パラリンピックの後援会発足準備がありました。

13日、まち懇の最後、ちの地区が終わりました。

14日、教育支援委員会答申ありがとうございました。

15日、連日ですが総合教育会議ありがとうございました。

16日、読み一むinちのと市長との懇談会がありました。読み一むinちのの活動をさらに盛り上げるように市でできることの話し合いや要望がありました。

17日、議会最終日でした。

18日土曜日に、子ども人権の集いがありました。例年、諏訪文化会館が会場ですが、昨年度はコロナのため中止。今年度は、岡谷、諏訪、茅野の3地区に分けて、茅野の地区は茅野市と原村と、富士見町でこの会場で行いました。4中学校の生徒が自分の作品を発表し、泉野小学校の6年生は人権の花の発表を行いました。

20日、飯田市の公民館を視察しました。

23日、外部機関の定期監査の報告を受けました。さらに年末区長会、オリンピック・パラリンピックの後援会が発足しました。

本日、定例教育委員会です。

明日、仕事納めになります。以上です。

報告第2号各課からの報告、学校教育課からお願いします。

○学校教育課長

1ページをご覧ください。学校教育課1月の行事予定です。

市内小・中学校の年末年始休業ですが、12月28日が永明中学校区の永明小学校、米沢小学校永明中学校の終業式で、6日まで年末年始休業になります。その他の小中学校に関しては、先週の金曜日に終業式でしたので、12月25日土曜日から6日まで年末年始休業になります。

1月11日火曜日、諏訪地方市町村教育委員会連絡協議会が、午後2時15分から諏訪教育会館で行われますので、教育長・職務代理者の出席をお願いします。

13日木曜日、教育支援委員会答申があります。午前10時から、市役所6階602会議室になりますので教育委員の出席をお願いします。

27日木曜日、1月教育定例教育委員会があります。午前9時30分から8階大ホールになりますのでお願いします。

同日午後2時25分から諏訪地方市町村教育委員会連絡協議会が諏訪教育会館で行われますので、教育長・職務代理者の出席をお願いします。

1月30日日曜日、プログラミング体験講座の開催を予定しています。全4回の開催で、第1回目を午前9時から704会議室で開催します。後ほどその他でチラシの説明をします。

以上です。

#### ○こども課長

2ページをご覧ください。こども課です。

こども課では、特に1月の行事はありませんので、相談等の通常業務となります。

以上です。

#### ○幼児教育課長

3ページをご覧ください。幼児教育課です。

園長会、主任保育士会、調理員会、障害児保育推進委員会等の通常会議と、21日金曜日には茅野市保育所保護者会連合会要望書回答を行います。

20日木曜日、保育研究集会を予定しています。午前9時10分からこの会場になります。教育長、教育委員の皆様には、午前中のみの出席をお願いします。

#### ○生涯学習課長

4ページをご覧ください。生涯学習課です。

1日、小泉山元旦登山です。ご来光に合わせて拝礼し、新たな年の始まりをお祝いします。イベント等はなく、朝6時50分山頂集合で自由参加となっています。

9日、令和4年茅野市成人式が茅野市民間マルチホール・コンサートホールの2会場で開催します。市長、教育長、教育委員お2人の出席をお願いします。

13日、茅野市はつらつ事業所認定審査会を市役所で行います。

28日、調べ学習コンクール実施委員会があります。教育長の出席をお願いします。

5ページをご覧ください。図書館です。

図書館は、1月4日まで休館です。その他は通常のおはなし会ですが、28日に第2回図書館協議会を開催予定です。教育長の出席をお願いします。

6ページをご覧ください。家庭教育センターです。

こちらも通常のおはなし会と遊びの広場の予定です。

7ページをご覧ください。公民館です。

13日、分館報展が、公民館ロビーで開催の予定です。

15日、第70回金沢地区スケート大会を開催の予定です。

20日、地区連絡会長会及び合同専門委員会があります。教育長の出席をお願いします。

26日、身近な法律講座が始まります。全4回の予定です。

27日には、新しくできた諏訪南リサイクルセンターを見てみようということで、現地リサイクルセンターでの見学や職員からの説明を受ける講座を予定しています。

29日、ロビー展として茅野市内小中学生作品展書写の部の開催を予定しています。

#### ○文化財課長

8ページをご覧ください。文化財課です。

尖石縄文考古館ですが、12月29日から1月3日は年末年始の休館となります。

1月は、茅野縄文遺産市民ガイド育成講座を23日、26日に解説実習ということで、開催します。

9ページをご覧ください。八ヶ岳総合博物館・神長官守矢史料館ですが、こちらも12月29日から1月3日まで年末年始休館となります。

プラネタリウムの投影を、土日祝日の午前、午後1回ずつ申し込み制で実施します。4日から3月18日まで、神長官守矢資料館の企画展「寅年の古文書」を開催していきます。

総合博物館では、展示物の保守のため、1月11日は通常休館、12日は臨時休館をさせていただきます。

その他は記載の通りですので、ご覧ください。

#### ○スポーツ健康課長

10ページをご覧ください。スポーツ健康課です。

スケート協会から案内があった通り、1月に4件のスケート大会が予定されています。

16日の県ジュニアスピードスケート中南信地区大会は教育長の出席をお願いします。教育委員の皆さんはご都合つくときにご参加ください。以上です。

#### ○教育長

質問ありましたらお願いします。

#### ○全委員

なし。

#### ○教育長

出席等ありますのでよろしくお願いします。

報告第3号教育委員会共催・後援をお願いします。

#### ○生涯学習課長

11月2日から12月9日の受け付け分として、4件の後援申請と1件の共催申請がありました。要領に基づき審査し、承諾決定しました。

なお2番目の茅野市ファミリー演劇鑑賞「エルマーのぼうけん」については、共催事業として、市民館マルチホールの開催予定です。

4番目のアイスキャンドル2022IN茅野は、永明小学校、宮川小学校、ちの保育園、横内保育園、ちの聖母幼稚園にもキャンドルの作成を依頼し、茅野駅周辺で開催の予定です。以上です。

#### ○スポーツ健康課長

スポーツ健康課です。先ほどの行事予定で説明したスケート大会の後援が5件、さらに終わっていますが、諏訪中学校体育連盟申請の中体連のスケート大会、さらに1月30日開催の茅野ソフトバレー大会の後援を承諾決定しています。

#### ○教育長

質問ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

今回議案、検討事項はありません。

その他 1 市議会12月定例一般質問についてお願いします。

○こども部長

その他 1 の資料をご覧ください。令和 3 年12月の定例会では、6 名の議員さんから 6 件の質問をいただきました。順に説明します。

1 つ目、野沢明夫議員から「民間保育園の活用について」質問いただきました。

内容は、小項目として 4 点あり、1 点目が「民間保育園の評価、園児数の状況は」です。

回答要旨としては、茅野市に住所があり、保育園等に入所している園児1,759人の内、約1/3の590人が私立園を利用している。

野あそび保育ささはらは、11月から定員を超えて受け入れ、現在33人の園児の内、茅野市の子どもが20人通園。公立保育園からの転園を希望する子どももいる。

私立保育園は、多様化する保護者ニーズに応えるため、一定の役割を果たしている。と回答させていただきました。

2 点目が、「私立保育園への財政措置とその経営の安定性は」です。

回答要旨としては、市から私立園等への委託料、施設型給付費は、国庫負担金1/2、県負担金1/4、市負担分1/4を財源に、国で定めた公定価格を毎月支払っている。

このほか、未満児等の保育に係る特別保育等補助金や障害児保育補助金など、該当する園に補助金を支出している。

公定価格は、定員により単価が変動するので、定員に近い人数の園児の入園が経営の安定に関わってくる。と回答させていただきました。

3 点目が、「公立保育園の民営化促進の予定は」です。4 点目が「大規模改修と統廃合の判断時期はいつごろか」ということで、関連がありますのでまとめて回答させていただきました。

回答要旨としては、公共施設再編計画では、民間の方が市からの持ち出しは少なくなるとされている。

今後は、保育園管理計画において、令和 4 年度に園児数の将来推計等の見直しを行う。その後、公共施設再編計画のスケジュールに沿って、令和 5 年・6 年度中に、公立と民間園の役割分担、公立保育園の配置の在り方、民間活力を活用した保育園の運営など、公立保育園の在り方について検討し、民営化や統廃合の方向性を整理していきたい。

なお、現在開園している園については、子どもたちの安心安全を守り、保護者の皆さんに安心して子どもを預けてもらえるように、予防保全を含め計画的な改修を行っていく。と回答させていただきました。

次に長田近夫委員からハイリー・センシティブ・チャイルド（HSC）について質問いただきました。長田議員から質問に入る前にHSCとは、生まれつき非常に感受性が強く敏感な気質を持った子どもである。1996年にアメリカの心理学者が発表した概念であって、特徴として、深く処理する。過剰に刺激を受けやすい。全体的に感情の反応が強く共感性が高い。些細な刺激を察知する。という 4 つの特徴があると説明がありました。それを踏まえての質問として、1 点目は「学校現場での周知について」です。

回答要旨としては、学校では、HSCに特化した周知や指導は、行っていないが、子ども支援を中心に、全ての教育活動において、一人一人の個性や特性を理解した支援と、子どもたちが互いに認めあうことの大切さについて丁寧に伝え、誰もが安心して生活ができる学校づくりを進めている。

HSCに特化した研修は行っていないが、各校において障害や多様な特性について専門性を高め、指導に生かしていけるような研修を行っている。

HSCについても学校と育ちあいの、関係機関が連携し、受けとめる体制を整えている。

今後、文部科学省等の研究が進んでくるものと思われるが、まずは学校が児童生徒にとって過ごしやすい環境であるために、アンテナを高くし理解を深めていきたいと回答させていただきました。

2点目は「HSCと不登校の関係について」です。

回答要旨としては、不登校は様々な要因が絡んでいるため、理由を特定する、という考え方ではなく、その要因を探り、総合的にその子を捉えていくことが大切であると考えます。

繊細さゆえに周囲の影響を受けて疲れやすい、という気質と不登校の関係については、様々な意見が散見されるが、今後国を中心とした公式な研究が必要であると感じている。

新たな不登校を生まないためには、HSCに限らず、様々な個性や特性をお互いに認め合い、全ての子どもに「自分の居場所」がある学校づくりを進め、自己有用感を感じられる教育活動を展開していくことが重要と考える。

また、茅野市では「適応指導教室、フレンドリールーム、サポートルーム」において児童生徒に寄り添った学びの場と支援を行っている。

不登校に関する相談は、「育ちあいの」を中心に、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーといった専門職がケースに応じた対応をしている。と回答をさせていただきました。

#### ○生涯学習部長

続いて、伊藤正博議員より「公共施設における管理の広域連携について」ご質問いただきました。

前半2つは、広域連携についての考え方、後半2つは陸上競技場と国際スケートセンターの特殊施設について質問いただきましたので、関連性がある生涯学習関係については3番4番ですが、全体をご報告します。

1点目の「公共施設再編計画の進捗状況について」ですが、茅野市は、人口増加・高度経済成長の昭和40年代後半から平成初期にかけて、市民ニーズに合わせ小中学校や保育園、運動公園などの社会教育施設をはじめとする多くの公共施設を整備してきた。

現在、多くの公共施設が30年以上を経過し、施設改修などが急務である。人口減少と少子高齢化が同時進行で、公共施設の効率的な管理運営を目指していく必要がある。

公共施設全体を把握し最適な配置を目指すため、平成29年2月「茅野市公共施設総合管理計画」を策定した。この総合管理計画をより具現化するために、施設ごとの方向性を令和3年2月「茅野市公共施設再編計画」として策定した。

再編計画では約220施設ある公共施設を「複合化」「継続」「廃止」「譲渡」4つに分類し、「譲渡・廃止」の31施設は概ね2年から3年以内に実施できるよう進めている。「検討」とした119施設は、保育園や小・中学校、地区コミュニティセンター等の教育関係施設が含まれ市民生活への影響が大きいため、慎重な検討が求められる。

今後の行財政改革のあり方を審議する行財政審議会の意見をいただき早期に方向を出していく予定。と回答させていただきました。

2点目の「諏訪広域圏における公共施設の広域管理について」ですが、諏訪広域圏の広域連携は、ごみ処理や、し尿処理などを一部事務組合により共同処理で行い、介護保険や消防、情報システムなども広域連合による共同処理を行っている。共同処理が効率的で必要である、と関係市町村間合意ができた場合、順次進めていく。

公共施設の広域管理は、各市町村の厳しい財政状況下、施設の老朽化・再編や管理運営の改善の必要な取組であると考ええる。

茅野市も、諏訪広域圏に複数存在する類似施設は、市町村間の枠を超えた広域連携が必要だと認識をしている。

しかし、広域連携の対象となる施設は、関係市町村との合意が大前提で、施設を統合して相互利用するメリットとデメリットを十分に議論し、公共施設を利用する住民に配慮しながら方向性を出す必要がある。と回答させていただきました。

3点目「陸上競技場の改修について」ですが、茅野市運動公園陸上競技場は、昭和57年3月にシンダートラック400m×8コース、収容人員メインスタンド1000人・芝生スタンド3000人で供用開始。平成23年全天候型の日本陸上競技連盟第3種公認の競技場となり、平成28年公認更新され現在に至っている。

陸上競技は、日本陸上競技連盟の公認検定合格競技場以外は記録が公認されない。今年11月30日で公認期間が終了。今回の公認改修工事費用が約8千万円と高額で、今後5年毎に更新費用が多額となるため、令和3年度の公認更新を見送り、陸上競技協会と協議を重ねてきた。

現在トラック第1レーンは摩耗によりスプレーエンボスが摩耗、ポリウレタン耐久層が露出し、使用制限の状況。直走路一部は摩耗がポリウレタンベース層にまで達している。利用者の安全確保のため、当初計画の路面整備を令和5年度から令和4年に前倒しでトラック路面の改修工事を計画。スタンド建屋は老朽化のため予防保全を含め令和2年度に改修を行った。

陸上競技場の公認更新は、茅野市スポーツ協会を通じ茅野市陸上競技協会と協議中であるので、公認検定1年間猶予の「陸上競技場検定延期願」を日本陸上競技連盟に提出し、承認された。

昨年度から、県、全国レベルの競技会は、感染症予防対策として、標準記録制による参加制限を設けることが主になっている。そのため諏訪地方唯一の全天候型走路陸上競技場の必要性が高くなることが予想され、公認更新を望む声も大きくなる可能性がある。広域連携による公共施設の維持管理は、この陸上競技場公認問題を契機として「公共施設管理がその所有市町村だけの問題ではないこと」が広域的議論に広まれば、問題解決の近道と考える。民意の高まりも考慮しつつ、関係団体と協議を続けたい。と回答させていただきました。

4点目「国際スケートセンター（NAO Ice OVAL）の方向性について」ですが、スケート競技先進地域は、昭和後期に自然リンクからパイピングリンクに移行が始まった。スケート協会からの「スケートセンター早期建設要望」を受け、茅野市国際スケートセンターは、平成元年12月にトラック400m×16m、初心者用24m×60mのアイスパネル方式で観覧席800席スケートリンクとして供用開始され、市・県各種大会が行われ、広く利用されている。平成4年全日本スピードスケート選手権大会を開催、平成7年全日本実業団スピードスケート競技会が開催された。

多くの茅野市出身選手が、同センターでの練習や大会経験が基となり、大きく世界へ羽ばたいている。平成10年の冬季オリンピック長野大会に外ノ池亜希選手、田中千景選手。平成14年ソルトレークシティ大会は、外ノ池選手。平成22年バンクーバー大会は、吉井小百合選手、小平奈緒選手。平成26年ソチ大会は小平選手が活躍した。中でも平成30年平昌大会で、小平選手が500m金メダル1000m銀メダル1500m 6位入賞を獲得する活躍は記憶に新しい。小平選手の功績を称え平成30年11月NAO Ice OVALの愛称を命名。国際スケートセンター（NAO Ice OVAL）は、多くのオリンピック、トップスケーターを輩出し、可能な限り施設の機能・性能を維持したいと考える。

スケートはこの地方の伝統的なスポーツで、国際スケートセンター（NAO Ice OVAL）は、諏訪地方において中核的な存在で重要な施設であると認識している。

スケートセンターオープンから現在まで、管理棟・テントハウスの改修及び冷凍機のオーバーホールや製氷設備整備工事（アイスパネル更新）等々を行い施設の機能性能の維持をしてきたが、オープンから33年経過し老朽化が進んでいる。公共施設再編計画は、建物を対象にした計画であり、機械設備の更新改修費用は含まれていない。スケートセンターの改修は、建屋の他機械設備の更新に多額費用が必要で、今後方向性を検討し、改修計画を策定し長寿命化を図りたいと考える。と回答しました。

#### ○こども部長

続いて木村かほり委員から「茅野市におけるデジタル活用への取り組みについて」質問をいただいています。項目としては4点で、1点目は「デジタルを活用する市民に求められること、スキルは何ですか」、2点目は「現状としてどのような取り組みがありますか」、3点目は「市民のデジタルシチズンシップの取り組みの可能性は」、4点目として、「学校におけるデジタルシチズンシップ教育の今後の取り組みは」ということです。

教育委員会に関係するものとしては、4点目の項目です。なおデジタルシチズンシップとは、デジタルを用いた政治活動とかそういうものではなく、デジタル社会の共通として必要となる市民性や公共性、倫理感、道德感を身に着けて、自分でそれらを適正に使いどれが本当のものなのかを見抜くというような力です。

4点目の項目だけになりますが、ご説明します。

デジタルシチズンシップ教育については、文科省の「GIGAスクール構想に基づく1人1台端末の円滑な利用に関する調査協力者会議」において、今後、ICT利活用の調査・分析・検証等が行われ、提言がされる見込みとなっている。

茅野市では、平成30年度に「茅野市ICT教育推進計画」「茅野市ICT教育アクションプラン」を策定し、児童生徒の情報リテラシーの習得、及び情報モラル・セキュリティの習得を進めてきた。

具体的には、「茅野市ICT教育推進会議」を設置し、「学校情報リテラシー」、「学校情報モラル・セキュリティ」、「家庭情報モラルアップ」の3部会において、周知・啓発に取り組んでいる。

11月には、茅野市ICT教育サポートセンター支援員の協力のもと、独自テキスト「小・中学生のための情報リテラシー」を作成した。

今後は、これらの取組をより発展させ、ルールを守ることだけでなく、デジタル社会に共通して必要となる、市民性、公共性、倫理観、道德観を身に付け、社会のためにデジタル技術を適正に使い、活用できる「よき社会の担い手」の育成が重要になってくる。

現在、令和5年度からを計画期間とする「第2次ICT教育推進計画」策定のための準備を進めている。デジタルシチズンシップ教育についても、発達の段階に応じて身に付けたい資質・能力をアクションプランの中に取り入れ、学校現場や部会の活動の中で推進していきたい。と回答をさせていただきました。

続いて伊藤正陽議員から「子育て支援について」質問をいただいています。項目1点目は、「子育て世帯の所得状況について」です。回答の要旨は、子育て世代を26歳から45歳までと考え、給与、農業、営業等の所得の平均額を算出した。

平成23年度は、245万8,223円、

平成28年度は、255万9,268円、

令和3年度は、264万7,662円と、増加傾向。

要保護及び準要保護児童生徒就学援助費の受給対象児童生徒数の全児童生徒に対する構成率は、所得状況がその前年の数値となるので、それに合わせた年度とし算出すると、

平成22年度が、586人、11.5パーセント、

平成27年度が、554人、11.5パーセント、

令和2年度が639人、14.5パーセント、と増加傾向である。と回答させていただきました。

2点目は、「学年費、給食費など学校の徴収金の現状について」です。回答要旨として、学年費は、令和3年度の徴収見込みが、小中合計で約1億円。令和2年度の年間決算額もほぼ同額。

給食費は、小学校1食285円、中学校1食340円で令和2年度の決算額は、約2億6,000万円。

このうち、就学支援費で約3,060万円、特別支援教育就学奨励費で約310万円の合計3,370万円を公費で補助し、差し引いた約2億2,630万円を保護者の方にご負担いただいている。と回答させていただきました。

3点目は、「学年費、給食費など学校徴収金の軽減について」です。

小中学校では、授業料と教科書代は無償だが、給食費と学年費は保護者の方に負担をお願いしている。

軽減対策として、経済的に苦しいご家庭には要保護及び準要保護児童生徒就学援助費や特別支援教育就学奨励費支給を支給し、その他該当するご家庭に、遠距離通学費の補助、部活動などの郡外における南信大会以上の参加者への補助金の支給を行っている。

学年費は、学校での教育活動に要する費用のうち、授業で作成した成果物や、授業等に要する購入品が個人に帰属する場合等、その直接的な経費が個人に還元されるものに関する経費については、各学校の裁量により、毎年予算をたて、増額にならないように必要最小限の支出に留め、保護者に承諾を得て執行していることから、今後も保護者の方にご負担をお願いしたいと考えている。

給食費は、学校給食法第11条の規定により、ご飯、パン、麺類、牛乳、おかず等に係る食材料費については、給食費として保護者にご負担いただいております。今後も保護者にご負担をお願いしたいと考えています。

なお、給食材料の高騰もあるが、給食費の金額設定は、平成27年4月から値上げをせずに、対応をしている。今後物価や食品の高騰の恐れがあり、保護者負担についても、増額を検討しなければならない場合があるかもしれない。学年費、給食費ともに極力現状の金額を維持できるよう努力し、子育て世帯の支援をしていきたい。

学年費、給食費ともに、毎年合計約3億3千万円となり、その全額を市の一般財源で負担すると、恒久的な財源確保が重要な課題となる。そのため、今後国や県からの補助金等の制度が構築された際には、制度の内容を精査した上で、対応していく必要があると考えるが、財政状況、他の負担軽減策とのバランスを考慮し、現状でご理解をお願いしたい。と回答をさせていただきました。

最後に望月克治議員から「自治体戦略2040構成を踏まえた課題と解決策について」質問いただきました。

項目1点目として、「新たな自治体体制への対応について」2点目として、「高齢化が進む中の福祉政策について」3点目として、「DXと言われる社会環境の変化に即しての子育て支援策について」です。3点目が教育委員会に関することとなります。回答の要旨ですが、令和2年12月に閣議決定されたデジタル・ガバメント実行計画において、行政手続のオンライン化の推進に取り組むこととされている。特に国民の利便性向上に資する手続とされた31手続について、令和4年度末を目指して、マイナポータルからマイナンバーカードを用いて、オンライン手続を可能にすることとしており、そのうち子育て関係は15手続が対象となっている。具体的には、児童手当等受給資格の認定請求や、保育施設等の利用申込等。

学校教育においては、昨年度末に「GIGAスクール構想」による一人一台端末と、校内通信ネットワークの一体的な整備が完了し、「子どもたち一人一人に個別最適化され、創造性を育むICT教育環境」が実現することになった。と回答させていただきました。

12月定例市議会の一般質問の回答要旨については以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

「市議会12月定例会の議決結果について」お願いします。

○こども部長

その他2をご覧ください。

12月定例会の議決結果ですが、議案16件諮問1件すべて承認可決同意等をいただきました。

このうち、議案第66号は欠番となり、議案第70号71号については、それぞれ70号は12月6日に追加提案を、議案第71号は12月17日に追加提案をしたものです。

議案第70号については、教育委員会に関連するものがありますので次ページ補正予算書第十三号でご説明します。

予算書の1ページをご覧ください。令和3年度茅野市一般会計補正予算13号です。第1条歳入歳出予算の補正で、歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ437,184千円を追加し、歳入歳出それぞれ30,619,769円とするものです。

下のページでご説明しますので、下のページで6ページをご覧ください。ここであわせて歳入歳出をご説明します。

3 款民生費で437,187千円の補正増をお願いするものです。2 項 1 目事業14、子育て世帯臨時給付金支給事業費で427784千円の補正増です。国において、コロナ克服新時代開拓のための経済対策として、子育て世帯に対し子ども 1 人当たり10万円相当の給付を行うこととし、このうち5万円について児童手当制度を基本とし、高校生等について対象に加えた上で支給することに伴い、給付金及びその事務費等を予算計上するものです。特定財源として、国の子育て世帯臨時特別給付金事業費補助金及び子育て世帯臨時特別給付金事務費補助金を金額充当するものです。以上が議案第70号です。なおこの件については、その他 3 で補正予算に該当するものについてご説明します。その他 2 については以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○勅使川原委員

先ほど、子育て世帯臨時給付金として、先行で5万円を給付すると説明を受けましたが、残りの5万円分についてはいつ頃給付になりますか。

○こども課長

残りの5万円分についてはまず、年明けに補正の専決処分をする予定です。その後、1月の初旬に支給の通知を出し、受給拒否の締め切り日を1月14日とし、振込日を1月20日ということで、追加給付分について進めています。

○教育長

その他 3 「茅野市子育て世帯等臨時特別支援事業（子育て世帯への臨時給付金（先行給付））支援事業実施要綱」についてお願いします。

○こども課長

その他 3 の資料をご覧ください。先ほど部長が補正予算の概要についてご説明ありましたが内容の要綱になります。

先月の定例教育委員会でも給付金についてご説明しましたが、実施要綱を告示しましたのでご報告します。

内容ですが、主な条分のみ説明します。第 1 条については、給付金の目的について説明しています。

第 2 条は、要綱内の用語の定義を説明しています。

2 ページ、第 3 条は、支給額について説明しています。

第 4 条は、申請無しで支給することについて説明しています。

第 5 条は、第 4 条の対象者に対する支給の方法を説明しています。

第 6 条は、児童手当の受給者のうち公務員世帯、また、高校生の世帯等に対する申請方法と支給方法について記載をしています。

第 8 条は、令和 3 年10月以降に出生した新生児に係る申請と支給の方法について説明しています。

主な説明は以上ですが、4 ページの附則をご覧ください。この告示は公布の日から施行するとなっていますので、令和 3 年12月17日施行となります。1 ページの上段に告示日がありますので、ご確認をお願いします。

残りの5万相当については、先ほどもご質問いただきましたが、現金給付の方針で進めていきます。児童手当受給者のうち、申請無し、で給付できる世帯については、1回目の支給を12月24日にしています。

高校生世帯等の申請が必要な世帯については、追加給付の額を合わせた10万円一括で支払う予定です。

年明けにお知らせ通知を発送し、給付の準備を進めます。予算についての補正対応が必要になりますので、そちらの内容は来月の定例教育委員会でご報告します。

以上です。

○教育長

質問ご意見あったらお願いします。

○全委員

なし。

○教育長

「令和4年度の地区公民館長の選考について」をお願いします。

○生涯学習課長

その他4の資料をご覧ください。

令和4年地区公民館長の選考について、茅野市公民館管理規則に基づき、地区館長については館長が選考し、教育委員会が委嘱することになっています。

資料のとおり10名方を選考いたしました。委嘱日は令和4年1月1日付けです。以上です。

○教育長

質問ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

その他5「令和3年度保育園卒園式及び入園式の日程」をお願いします。

○幼児教育課長

卒園式の日程ですが、令和4年3月22日火曜日午前9時30分からと、午前11時からに分けて市内公立保育園14園で実施します。

また入園式については令和4年4月1日金曜日午前9時30分と、午前11時に分けて、公立の14保育園で実施します。

私立の5園、玉川どんぐり保育園、わかば保育園、よこうち認定こども園、ちのせいぼ幼稚園、野あそび保育ささはらは、市長等の来賓出席を辞退されています。

教育委員の皆様には、2月の定例教育委員会で改めて出席の分担を依頼させていただきます。今回は日程のみご承知いただきたいと思いますので、よろしくお願いします。

○教育長

3月22日と4月1日が穏やかに迎えられればと思います。

その他6「令和3年度小中学校卒業式及び入学式について」をお願いします。

○学校教育課長

その他6をご覧ください。

小学校の卒業式を3月16日水曜日の午前中、中学校の入学式が3月17日木曜日の午前中になります。

入学式は、4月7日木曜日午前中は中学校の入学式、午後は小学校の入学式となります。それぞれ、担当いただく学校については、改めてご案内をさせていただきます。

以上です。

○教育長

その他7「永明中学校校庭遺跡発掘調査の状況について」をお願いします。

○文化財課長

その他7をご覧ください。

9月の定例教育委員会で、途中経過を報告しましたが、予定していました今年度の発掘調査が終了しましたので、調査の成果について概要を報告します。詳細については報告書としてまとめる予定です。

本日、市長、先週は副市長にも現地を見ていただきました。学術的な内容も含まれますので、小池文化財係長よりご説明します。

○文化財係長

中間報告をさせていただきましたが、調査が終了したので簡単ですがご報告させていただきます。

前半の様子からかなり広範囲に、また同じ場所で、住居跡が繰り返し建て替えられていることがわかってきて、前半の調査が終わったのが9月の下旬で、年内の調査終了を目指して進めてきましたが、一時はどうなるか心配で私自身もドキドキしていましたが、担当職員と作業員の方々に頑張っていただいて、無事予定どおり終わることができました。

後半ですが、前半等で確認されていた住居跡が、特に練成館側、地図右側上にかなり密度濃く弥生・平安時代の住居址が出ました。

それに加えて、上の写真、左上に前半の調査では見つかっていなかった場所で住居跡が見つかる新たな展開もありました。

重要文化財級或いは国宝級といったような大きな発見は無かったですが、いずれにしても当地域の弥生時代や平安時代の歴史を解明する上で、非常に重要な資料を得ることができました。

新聞等でも報告をさせていただきましたが、裏面、弥生時代になると、田んぼに水を張り水稲耕作をしていたことが定説になっています。そして、この標高の高い諏訪平においても、弥生時代後期、大体3世紀の「卑弥呼の時代」ですが、水田こそ見つかっていませんが、火をたく囲炉裏の土を振るったところ、炭化したお米が10粒ほど見つかりました。

今後ですが、今発掘調査が終わった状態で、山ができたり、シートがあつたりしていますが、年明けに土を埋め戻し、整地をして学校教育課に引き渡すという予定になっています。

なお、来年は発掘調査がありません。今年度調査の成果のまとめや今後に備えるということになっています。

調査の現場作業の再開は、令和5年の4月～6月で、練成館を取り壊した跡地を、この3ヶ月間で調査する予定になっています。その後令和6年、令和7年と調査を進めますが、小中学校建替えや街区整理事業に影響のないように引き続き、皆様の協力を得ながら調査を進めていきます。

以上です。

○教育長

質問ご意見ありますか。

○全委員

なし。

○教育長

個人的には沢山質問したいことがありますが大変お疲れ様です。

その他として、生涯学習課をお願いします。

○生涯学習課長

生涯学習課からその他として2点、報告事項をお願いします。資料はありません。

まず1点目、ロングモントとのホームステイ交流事業についてです。令和3年度に2019年に茅野市から派遣しました生徒8名について、通常だと派遣した翌年に茅野市が受入れる場となりますが、コロナ禍により令和2年度、3年度と2年間続けて中止している状況です。

そこで、ロングモントとの交流事業を委託している国際クラブの皆さんに相談させていただき、まずは茅野市から派遣した生徒達、現在高校生や中には茅野市を離れてしまっている方も含まれていますが、交流を希望するか、交流するならどのような形が良いのかを自分たちで考えてもらうようにしました。結果、年明けの1月8日土曜日にそれぞれの自宅からオンラインで家族ぐるみで交流することになりました。お互いの近況報告のほか、いろいろ趣向を凝らしたオンラインのゲームを用意して、交流する予定とのことです。

なお終了後、市へ報告書を提出していただく予定となっています。

もう1点目、1月9日日曜日に市民館で予定されている令和4年成人式について、昨日現在の出席申し込み状況についてご報告します。

令和4年成人式の対象者ですが、合計で668名が対象者となっています。12月26日現在で、式典への参加申し込みがあったのが339名で、出席率としては50.7%、コロナ前ですと60%ほどでしたので、出席率は落ちている状況です。

年末年始休みを挟んで感染拡大の懸念もありますが、何とか1月9日に挙行できればと考えています。以上です。

○教育長

質問ありますか。

○矢島委員

その他に関連して、1点お話をさせていただきます。

昨日、私の手元に公民館報が届きました。この公民館報の今度の特集は、分館報展で5ページにわたって紹介してくださっています。

コロナの苦しい状況の中、工夫して各分館で活動が行われてきているという記事を見る中で、地域創生の一つの起爆剤になればと思いました。

変異株の心配もありますが、いよいよウィズコロナからアフターコロナの時代へと移り変わっていく中で、地域とのつながりをどのように修繕していくかが今後の課題になってくると思います。

○教育長

ウィズコロナからアフターコロナへの公民館活動は大変ですが考えていかなければならないと思います。

その他何かありますか。

○学校教育課

お手元のチラシをご覧ください。

子どもたちの多様な学び創造事業を、昨年度から実施予定ですが、コロナの影響を受け、全く実施できてない状況です。子どもたちの多様な学びを創造するためのプラットフォームを作り、事業の進め方を検討する予定でしたが、なかなか実施できないため、本格運用の準備ということも含め、9月に茅野市精密工業連合会から、いただいたプログラミング学習用のレゴブロックを活用して、小学校高学年を対象にプログラミング講座を15名限定で実施したいと考えています。

1月30日から始まり、計4回実施しますので、ご承知おきください。

以上です。

○教育長

その他ありますか。

○勅使川原委員

国際スケートセンターについて質問ですが、先ほど一般質問の中でもあった国際スケートセンターについては、今後の方向性を検討し改修計画を策定して長寿命化を図りたいと回答されていましたが、今後の方向性の検討とは具体的にはどういったもののでしょうか。

もう1点、今年もスケートセンターの使用開始日は、11月23日を予定していましたが、昨年同様延期されていきました。天候も関係してくるかと思いますが、茅野市以外の施設が23日やそれ以前にオープンできています。

スケートセンターの限られた短い期間でスケートをやる子どもたちは集中的に利用したいと思い、使用開始日をとても楽しみにしていると思いますので、利用開始日が伸びてしまった理由を教えてください。

○生涯学習部部長

方向性については、先ほど少しお話ししましたが、公共施設再編計画は建物を全部集約し、これからどのように整備していくかという計画です。しかし、スケートセンターは、ほぼ屋外リングなので、「建物」とはなりません。なので、機械設備等を加えていくと相当の費用が必要になってきます。

30年も経過しているのも、路盤がフラットではないという点も今回のオープンできなかった理由の1つです。要するにその設備的な理由もあるため、今後多額の費用がかかってくることに限っては、今後財源をどのように賄っていくかという点で、現状は非常に厳しい状況になっています。

課長よりオープンが遅れた詳しいご説明をします。

#### ○スポーツ健康課長

近年の温暖化によって、来年も同じような状況になると感じています。

オープン予定日を1週間遅らせることも検討中です。

冷凍機的能力も大分弱ってきているので全面を一気に氷を作る作業ができず、半分ずつ作っていくという状況で、中の小さな初心者リンクは年内に今年ではできるのかと思います。

冷凍機の入替え、さらに滑走面の下のアイスパネルがここで10年経つので更新していかなければいけないとなると、一気に改修はできないので、どこから手をつけるかという計画を今着手しています。

路盤が平らではないので、舗装が冬になると上下し、氷の厚さがばらばらになってしまうことも大きな原因なので解消していくということで、計画の第一番にこれを上げて実施していきますが、生涯学習部長の言った通り大きな金額なので、財政面をよく検討しながら計画し、長寿命化を図っていきたいと考えています。

以上です。

#### ○勅使川原委員

財政面については承知していて、課長から来年も1週間利用開始日を遅らせる状況になるという意見がありましたが、先ほども言ったように、他の施設が間に合っているのにどうして茅野市は間に合わないのか、間に合わせるように機械をフル稼働させるといったような対策をとってほしいと思う利用者もいます。

オープンしてすぐ大会となり、協会でも大会自体の開催日を変更していく考えもあるようですが、施設を使える期間が短いということは、それだけ使用者も少なくなってしまいます。せっかく小平選手の名前を冠した以上は声をなくすことはできないので、国際センターとして機能させるのであれば、様々な優先順位があると思いますが、大きな決断が必要になってくると思うので、状況をしっかり把握して整備していただければと思います。

#### ○教育長

オープンの時期はどうか。

#### ○スポーツ健康課長

11月23日オープンのためには、冷凍機能力を上げるしかないですが、数千万かけてリースすることも難しい状況です。

屋内になれば問題ないですが、何百億をかけて作るわけにはいかないので、できる限り努力しますが、来年の23日に確実にオープンするお約束できません。

岡谷が早くオープンできたのは冷凍方式が違うからで、茅野市の方式が悪いということはありませんが、今の能力ではフル稼働で氷作りしましたが、遅れてしまったという状況です。

来年冷え込めば間違いなくオープンできますのでよろしくお願いします。

○教育長

機械の関係ありますが来年できるだけ頑張ってください。  
事務局よりお願いします。

○教育総務係長

次回1月の予定を報告します。定例教育委員会を1月21日の木曜日、午前9時30分から8階大ホールで実施します。事務局会については、1月3日の木曜日、9時から602の会議室で行います。

以上です。

○教育長

以上で12月定例教育委員会を閉会します。

茅野市教育委員会会議規則第19条第2項の規定によりここに署名する。

令和4年1月27日

茅野市教育委員会

教育長

同職務者代理

委 員

委 員

委 員

こども部長